

記載例

平成24年(ワ)第1000号

原告 ●●●●

被告 株式会社○○ 外1名

① 訴状や口頭弁論期日呼出状に記載されている  
事件番号、当事者名を記入してください。

② 本書面の作成日 → 平成 ★年 ★月 ★日

松江地方裁判所民事部 御中

松江地方裁判所 \_\_\_\_\_ 支部 御中

\_\_\_\_\_ 簡易裁判所 御中

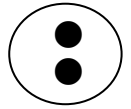
③ 提出先の□にチェックを入れてください。

氏名 (法人の場合は法人名・代表者名)

④ 該当する□にチェックを入れてく  
ださい。

原告  被告

●●●●



⑤ 押印をしてください。

検証申出書

頭書事件について、次のとおり検証を申し立てます。

1 証明すべき事実

⑥ 証明したい事実を記入してください。

本件境界が原告の主張する線であること。

2 検証の目的物

⑦ 上記1のために検証する目的物を記入してください。

松江市○○町○○番地の土地と同町××番地の土地との境界付近。

<参考条文>

- ・ 民訴法第180条…証拠の申出は、証明すべき事実を特定してしなければならない。  
2 証拠の申出は、期日前においてもすることができる。
- ・ 民訴規則第150条…検証の申出は、検証の目的を表示してしなければならない。

記 載 例

3 検証により明らかにしようとする事項

(1) ブロック塀と境界線の位置関係。

(略)

⑧ 上記2を検証することにより、明らかにしたい事実を記入してください。